

# 特集 大気汚染物質の分析化学

## 《特集》「大気汚染物質の分析化学」企画にあたって

近年、中国をはじめとする急激な産業革新が続く国々では大気汚染が問題となっています。これは発生源の国のみならず隣接する、あるいは遠く離れた国までにも越境汚染という形で影響を与えています。大気汚染物質には発生源から直接にもたらされる一次汚染物質（ばい煙・粉塵・NO<sub>x</sub>・SO<sub>x</sub>・一酸化炭素・炭化水素等）と一次汚染物質の化学反応によって生じる二次汚染物質（二次有機粒子・硝酸・硫酸・光化学オキシダント・オゾン等）などがあり、これらの汚染実態を正確に把握する上で、分析化学の果たす役割は重要と考えられます。

そこで、本年の特集として標記テーマを取り上げました。本特集では大気汚染物質や越境汚染に関する総論、関連する法令および各国の規制の状況、加えて、粒子状物質・揮発性有機化合物・エアロゾルなどの各論ならびに最新の大気汚染物質の分析法についても取り上げ、それらの執筆は第一線で活躍されておられる方々をお願い致しました。必ずしも網羅的な内容にはなっておりませんが、専門でない方にも容易に理解できるよう平易な表現で解説されていますので、ぜひご一読ください。ただし、本特集内では、粒子状物質の略号（PM 2.5 または PM<sub>2.5</sub>）などの専門用語は各著者の表記をそのまま採用しておりますので、ご注意ください。

「ぶんせき」編集委員会

### 特集 大気汚染物質の分析化学

大気汚染物質の化学と分析	畠山史郎
大気汚染物質に関する環境法ならびに各国の規制状況	柳 憲一郎・中村健太郎
粒子状物質の化学組成とその構造に関する分析	高見昭憲
揮発性有機化合物	加藤俊吾
大気エアロゾルに含まれる金属元素	兼保直樹
酸性雨	小川信明
オキシダント	梶井克純
有機エアロゾルの分析法および大気中での反応過程	佐藤 圭
大気汚染物質の先端的分析法	猪俣 敏